

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	野木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	こども食堂(地域食堂)	総事業費				319,323	105,261	424,584
		うち市町支出額				300,000	100,000	400,000
		うち県交付金				150,000	50,000	200,000
2	わが町の歴史再発見を通じた郷土愛の醸成と史跡を活かした地域活性化	総事業費				200,510	501,337	701,847
		うち市町支出額				200,000	500,000	700,000
		うち県交付金				100,000	250,000	350,000
3	ICT普及促進事業	総事業費					133,063	133,063
		うち市町支出額					133,063	133,063
		うち県交付金					66,530	66,530
4	空家活用プロジェクト	総事業費					231,987	231,987
		うち市町支出額					220,000	220,000
		うち県交付金					110,000	110,000
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	0	0	519,833	971,648	1,491,481
		うち市町支出額	0	0	0	500,000	953,063	1,453,063
		うち県交付金	0	0	0	250,000	476,530	726,530

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	こども食堂(地域食堂)
事業主体の名称	ほっとステーション
代表者の名称	小関 良枝
事業主体の所在	〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼5905-92
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:こども食堂(地域食堂)の運営を通し、多様なこども達の居場所づくりを主たる目的とする。また、地域のふれあいの場として、住民同士の交流を図ることで、協働のまちづくりに寄与する。</li> <li>・設立年月日:平成31年3月1日</li> <li>・構成員等:野木町在住・在勤者</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、子育て世代の共働き家庭や一人親家庭が増えていることにより、こどもが一人きりで食事をする「孤食」が進行している。こどもだけでなく、高齢者も単身世帯が増加し、社会から孤立してしまうケースも発生している。そこで、「地域の人と触れ合える場所」をつくることで、地域の絆を強め、孤独を作らないことが重要となる。</li> <li>・町内において、こども食堂(地域食堂)の開設を当団体が昨年度から実施しており、引き続き孤食や貧困家庭対策として開設が必要とされる。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こどもの貧困対策として、食事の提供や学習支援</li> <li>○地域で孤立した住民をつくらぬような居場所づくり</li> </ul>
事業概要	<p>【平成31年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○こども食堂の開設 内容:こども食堂を開設し、来場者に食事を提供する。 実施日:月1回(金曜日)全12回開催 場所:ボランティア支援センターきらり館</li> </ul> <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成31年度同様にこども食堂を開設 全4回開催予定(感染症対策を行い実施) 新橋児童館で夏休み期間に開催 8/3. 7 きらり館で開催 11/7 新橋児童館春休み期間に開催予定</li> </ul> <p>感染症の影響により、施設の休館等となってしまったことや、不特定の人を集める事業が困難であったため、予定していた事業が一部しか実施できなかった。 そのような中、短い夏休みで子どもの支援ができないかと考え、新橋児童館のご協力をいただき、小・中学生までの子どもに昼食の提供をした。あらかじめ時間を告知したチケット制とし、密を避け感染症対策を行い実施することができた。子どもたちの中には、両親が働いているため一人で昼食をとる子どもや情緒に課題があり同年代とのかかわりが苦手な子どもがおり、対応する中で子どもの話し相手となることができ、とてもよい経験となった。今後も学校の長期休業中の事業は、子どもたちとの関わりに特化し検討していきたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標3】結婚・出産・子育てしやすい環境づくり</p> <p>【数値目標】 15歳～49歳の人口 現状値55人の転出超過 → 目標値100人の転入超過(H27～R2年の6年間調査)</p> <p>【KPI】 まちづくり(子育てのまち)の満足度 現状値0.24点(H26年調査) → 目標値0.40以上(R1年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	こども食堂(地域食堂)の運営 ふれあい体験事業	こども食堂(地域食堂)の運営 ふれあい体験事業			こども食堂(地域食堂)の運営 ふれあい体験事業
事業費	319,323	105,261		424,584	115,000
市町支出金(ソフト事業分)	300,000	100,000		400,000	0
うち県交付金	150,000	50,000		200,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	19,323	5,261	0	24,584	115,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 協働のまちづくり係
担当者名	針谷
電話	0280-57-4154
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	こども食堂(地域食堂)	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
自主財源	5,261	会費等
町補助金	100,000	わがまち未来創造事業補助金
計	105,261	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
備品購入費	76,254	74,000	37,000	2,254	パーテーション、非接触型 体温計
消耗品費	18,087	16,000	8,000	2,087	消毒液、配膳用容器等
傷害保険料	10,920	10,000	5,000	920	ボランティア傷害保険
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	105,261	100,000	50,000	5,261	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市 町 名	野木町
事 業 名	わが町の歴史再発見を通じた郷土愛の醸成と史跡を活かした地域活性化
事業主体の名称	のぎ・歴史を歩こう会
代表者の名称	関根秋雄
事業主体の所在	〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林217-8
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:歴史さんぽを通して親睦を図るとともに、史跡の掘り起こしを通して地域の歴史を理解しようとするもの。</li> <li>・設立年月日:平成28年4月1日</li> <li>・構成員等:会員15名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>野木町は栃木県の最南部の人口2万5千人余りの小さな町であるが、首都圏への通勤の利便性と自然が豊かに残る町として、「花とレンガの町」をキャッチフレーズに国の重要文化財となった野木町煉瓦窯を全面に押し出して町の知名度を上げる取り組みを行っている。</p> <p>一方で、町が策定した野木町総合戦略の中に「郷土愛の醸成」を取組内容の一つに掲げてはいるものの、町民の多くは、「野木町には歴史がない!」、「歴史と言っても野木神社と煉瓦窯だけ!」といった認識が一般的である。</p> <p>野木町の住民を大別すれば、生まれ育った元々の住民と、首都圏などから移り住んできた住民に分けることができる。後者の住民から町が言う「郷土愛」はどこから生み出されるものなのだろうか?生活の場として移り住んだ住民にとっての「郷土愛」とは、まず、その町を知り、その歴史や文化に触れるところから始まるのではないか。そうした郷土愛醸成の具体的な取組はあまりなされてはいないのが現状であり、課題となっている。今回の取り組みはそうした現状を踏まえ、広く町内外に煉瓦窯だけではなく野木町の歴史・史跡を再認識してもらい、それを啓発するための事業である。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内各所に残る神社や寺院、古代の遺跡、石塔群などを巡ることで野木町の歴史再発見を試みる。</li> <li>・町民参加による史跡あるきを通して、野木町および住民自らが住む地域の歴史に触れることで「郷土愛の醸成」につなげる。</li> <li>・野木町は「健康タウン・のぎ」を宣言し、健康づくりに町を上げて取り組んでいる。史跡あるきを通じて、町の豊かな自然が織りなす田園風景の中で史跡あるきをすることで、町が提唱する「健康づくり」に寄与する。</li> <li>・「野木町郷土館」のリニューアルと啓蒙活動に取り組んでいる野木歴史文化伝承会と連携し、町内に散在する史跡と郷土館の歴史資料をリンクさせることで、立体的に町の歴史を町内外に発信する。</li> <li>・「野木町史跡あるきガイドブック」を発刊し、野木町の史跡に興味関心をもつ町民及び町外の観光客の便に供し、野木町の知名度を上げる一助とする。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>野木町にある10の大字ごとに町民参加による史跡めぐりを企画し、基礎資料の収集を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1年かけてすでに取り組んだ地区についての再調査を行い、基礎資料づくりに取り組む。</li> <li>○10コース程度の史跡あるきマップを作成する。</li> <li>○野木歴史文化伝承会と連携し、野木町郷土館の歴史・民俗資料の活用に取り組む。</li> </ul> <p>【令和2年度】</p> <p>前年度の活動とその成果を踏まえて、野木町で最初となる史跡あるきのガイドブック『ぶらり野木町歴史さんぽ』を刊行した。</p> <p>刊行したガイドブックは、町の生涯学習課を通じて、県内の各市町や他県の公立図書館に寄贈する予定。また、町内の各公共施設・図書館に常備し町民の利用に供する他、町内の小中学校にも配布し野木町の歴史文化を理解する上での教材としてもらう予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標4】時代にあった地域づくり</p> <p>【数値目標】</p> <p>野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値80.7%(平成26年調査) → 目標値90.0%以上(令和元年調査)</p> <p>【KPI】</p> <p>野木町の魅力の町外へのPR活動件数 現状値14件(H26年度) → 目標値20件(令和2年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①町民参加による史跡あるき(4回) ②町内各地区の史跡再調査と写真記録の収集 ③基礎資料に基づいた「史跡めぐりマップ」の作成 ④野木町郷土館の活用	①町民参加による史跡あるき(4回) ②町内各地区の史跡再調査と写真記録の収集 ③基礎資料に基づいた「史跡めぐりマップ」の作成 ④「野木町史跡めぐりガイドブック」の刊行			①町民参加による史跡あるきの継続 ②「史跡ガイドブック」に基づいたイラスト付きの町内各地域の史跡めぐりマップの作成と刊行
事業費	200,510	501,337		701,847	50,000
市町支出金(ソフト事業分)	200,000	500,000		700,000	0
うち県交付金	100,000	250,000		350,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	510	1,337	0	1,847	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 協働のまちづくり係
担当者名	針谷
電話	0280-57-4154
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	わが町の歴史再発見を通した郷土愛の醸成と史跡を活かした地域活性化	
対象年度	2	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	500,000	
自主財源	1,337	
計	501,337	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額	自主財源等		
			県交付金		
報償費	25,000	25,000	12,500	0	原稿料
旅費	2,340	2,340	1,170	0	調査に係わる交通費
消耗品費	44,837	44,830	22,415	7	書籍、事務用品
印刷製本費	429,160	427,830	213,915	1,330	印刷製本、プリント代等
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	501,337	500,000	250,000	1,337	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	ICT普及促進事業
事業主体の名称	野木町ICT地域活性プロジェクト
代表者の名称	鶴岡 学
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町友沼6409番地2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的:ICTを活かした新しい生活様式を地域住民に浸透させていくこと。</li> <li>設立年月日:2020年5月1日</li> <li>構成員等:野木町在住者7名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	コロナ禍で新しい生活様式が求められる中、従来型の集客イベントの開催が難しい状況となっている。そのような状況の中でICT機器を使用した地域のイベント等など、新しい形での地域振興・地域活性化を考える必要がある。また地域コミュニティでのICTの普及促進を進めていくことが急務である。
事業目的	野木町内及び遊水池周辺の産業従事者を出店者としてオンラインイベントを開催することにより、地域活性化並びに野木町やその周辺を含む地域を参加者へアピールすることを目的とする。またそれらのオンラインイベントに参加するには最低限のICT機器の操作が必要であるため、地域コミュニティの中でICT機器の講習会等の開催を行ない、新しい生活様式をICT機器でサポートしていくことを目的とする。
事業概要	<p>○テレビ会議システムを利用したマルシェ・講演会等のオンラインイベントの開催。</p> <p>&lt;主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スウェーデンパーチャルツアー等、オンラインイベント8回(月1回)</li> </ul> <p>&lt;共催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10/18神楽保存を考える実行委員会主催合同神楽奉納祭</li> <li>ロータリークラブと共催3回</li> </ul> <p>○そのイベントに必要なスマホ・PC等のICT機器のサポート・活用講座の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティでのICT機器活用講座の開催(主婦・高齢者向)</li> <li>オンラインイベント参加者向けのICT機器操作サポート講座</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標4】 時代にあった地域づくり</p> <p>【数値目標】 野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値80.7%(H26年調査) → 目標値90.0%(R1年調査)</p> <p>【KPI】 まちづくり(情報のまち)の満足度 現状値0.05点(H26年調査) → 目標値0.20点以上(R1年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ICT普及促進事業 オンラインイベントの開催			/	ICT普及促進事業 オンラインイベントの開催
事業費	133,063			133,063	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	133,063			133,063	0
うち県交付金	66,530			66,530	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	400,000

市町担当情報		
担当課(グループ・係)名	生活環境課 協働のまちづくり係	
担当者名	針谷 瑛	
連絡先	電話	0280-57-4154
	FAX	
	E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ICT普及促進事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	133,063	
計	133,063	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
使用料	19,757	19,757	9,878	0	
通信費	13,759	13,759	6,879	0	
消耗品費	66,657	66,657	33,328	0	
備品費	30,360	30,360	15,180	0	
印刷製本費	2,530	2,530	1,265	0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	133,063	133,063	66,530	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	空家活用プロジェクト
事業主体の名称	煉瓦窯deマルシェ実行委員会
代表者の名称	小川 信子
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町丸林399-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:野木町のにぎわいづくりを目的とする</li> <li>・設立年月日:平成29年2月1日</li> <li>・構成員等:町内在住者11名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	高齢化が著しい野木町において空家の増加も目立ち始めている。いかに空家を活用していくかというのは社会問題の一つである。 先駆的な取り組みとして、空き家を活用した賑わいづくりを創出していく必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者までの幅広い人たちが気軽に立ち寄れる居場所づくり</li> <li>・居場所づくりによって人と人との繋がり、支えあう関係や多世代間交流を生み出すこと</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家再生ワークショップ(コロナ禍のため少人数で実施) 襖の張替え、網戸の張替え、花壇の整備</li> <li>・イベント実施 2020年11月29日 フリーマーケット(日用品、コーヒー、駄菓子等) 参加者94名 チューリップの球根の定植も実施 2020年12月27日 餅つき&amp;門松づくり 参加者18名 こばちゃん農場とのコラボで実施 2021年3月28日 CADOの縁側(ハンドメイド作品、コーヒー、パン、駄菓子等の販売、本の読み聞かせ等)</li> <li>・居場所整備後の活用予定 不定期にイベント「CADOの縁側」を開催 コミュニティカフェの開催 イベント等が無い日はレンタルスペースとして活用</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】 人を呼び込むための魅力づくり 【数値目標】 流入(移住・交流)人口 現状値117,495人(H26年度) → 目標値290,000人(R2年度) 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値59.0%(H27年調査) → 目標値70.0%以上(R1年調査)</p> <p>【KPI】 ふれあいの拠点整備箇所数 現状値— → H27年度~R2年度の6年間で設置を目指す</p> <p>【基本目標4】 時代にあった地域づくり 【数値目標】 野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値80.7%(H26年調査) → 目標値90.0%(R1年調査)</p> <p>【KPI】 分館活動への参加者数(延べ人数) 現状値6,153人(H26年度) → 目標値8,000人(R2年度) まちづくり(協働のまち)の満足度 現状値0.11点(H26年調査) → 目標値0.30点以上(R1年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	空家再生事業			/	空家活用事業
事業費	231,987			220,000	250,000
市町支出金 (ソフト事業分)	220,000			220,000	0
うち県交付金	110,000			110,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	0
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	11,987	0	0	0	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 協働のまちづくり係
担当者名	針谷 瑛
連絡先	電話 0280-57-4154
	FAX
	E-mail seikatukankyou@town.nogi.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	空家活用プロジェクト	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	220,000	
自主財源	11,987	11/29 フリーマーケット収入より
計	231,987	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源		備考	
		市町支出額			自主財源等
		市町	県交付金		
修繕費	67,760	67,760	33,880	0	量表替え(6畳・4.5畳×2)
光熱水費	9,271	9,270	4,635	1	上下水道代11月～1月分、電気代11月～1月分
燃料費	3,112	3,110	1,555	2	灯油代
保険料	13,940	3,260	1,630	10,680	総合保険、賠償保険分は自主財源より
消耗品費	137,904	136,600	68,300	1,304	照明器具(蛍光灯等)、調理器具(ポータブルコンロ、IHクッキングヒーター等) 襖貼り替え、網戸張替え材料費 庭整備(レンガ、腐葉土、植物等) 掃除用具(掃除機、箒、バケツ、雑巾等) 日用品(トイレトーパー、消毒液等)
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	231,987	220,000	110,000	11,987	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合